

令和5年度 京都府立洛北高等学校 学校経営計画（計画段階）

学校経営方針	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点
<p>京一中の良き伝統を受け継ぎ、学業、特別活動、スポーツ・文化活動等のあらゆる面で京都府の中核校を目指す。</p> <p>(1) 中学校と高等学校の教職員の相互理解を図り、中学校と高等学校が一体となった組織運営を確立する。</p> <p>(2) 生徒指導、学習指導を両軸として、校訓の浸透に努め、心豊かな人間の育成を目指す。</p> <p>(3) 普通科文理コース・普通科スポーツ総合専攻・サイエンス科（中高一貫コース）の特色を最大限に生かした教育の推進と特別活動等の一層の充実を図る。</p>	<p>◇ 全生徒・全教職員の協力、保護者等の理解により、マスクや手洗い、換気、体調不良時の登校控え等の感染拡大防止の生活様式を実践した。その上で、可能な限り教育活動を縮小せずに実施する方針を持ち、実現した。文化祭及び本格的な体育祭を3年ぶりに実施し、大きな教育効果を上げた。行動様式が新たな段階に入る本年度は、国・府の方針を踏まえながら、学校内での生活・教育活動のあり様を新たに実践していく必要がある。</p> <p>◇ 年度途中に中間総括を行い、学校全体として重点的に取り組むべき課題について焦点化し、教職員の共通理解を深め、取組が定着した。</p> <p>◇ コロナ禍の社会情勢の中、地震による火災を想定した避難訓練を、実際の避難活動まではしない形で実施した。防災意識を高めるとともに、非常時の対応方法について生徒が理解、共通認識することはできた。</p> <p>◇ 新学習指導要領の1年次からの段階実施に応じて、授業実践・研究を行った。指導要領の主旨に基づく評価の研究は継続的に行っていく必要がある。</p> <p>◇ 各教科で目標を立て、研究授業等を通して授業改善を図った。ICT技術を活用した効果的な学習のあり方について、実践をまとめて校内外に公表した。</p> <p>◇ 特別活動において生徒が主体的に取り組む姿勢を育むことができた。部活動等において生徒の顕著な活躍が増えた。学習と部活動の両立については、顧問、クラス担任、各分掌、教科担当の連携をさらに深める必要がある。</p> <p>◇ 定期的に学力向上検討会議や模試分析会を開催し、多角的に生徒の学力分析に努めることができた。</p> <p>◇ 現代社会に対応する視点を取り入れながら、計画的に人権学習を進めることができた。今後さらに教育活動全体で、また、思考し意見交換を行う能動的な人権学習に取り組む体制の構築が必要である。</p> <p>◇ 特別な支援が必要な生徒に対し、関係教職員や外部関係機関との連携を図り、適切な指導体制を組むよう努めた。より丁寧で、効果的な支援を目指して実践していく必要がある。</p> <p>◇ 学校説明会やホームページ等を通して学校の情報を広く発信することができた。より特色と魅力を発信して、本校志願者数の増加を図っていく必要がある。</p> <p>◇ SSH第5期の指定を受け、3年指定の1年目の活動を意欲的に実施した。コロナ禍のもとでも、工夫しながら対面型の事業や成果普及の組織作りを推進できた。コロナ禍の下、国際交流化の取組の推進には難しさがあったが、アイルランドの高校生との対面での交流を実施した。</p> <p>◇ 京大等の難関大学、国公立大学とともに、記録ある中では最多の合格者が出た。良き成果を継承していく。</p>	<p>① 質の高い学力をはぐくむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高大接続改革を見据え、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善を図り、授業力向上を目指す。 ・中高一貫校、単位制の長所を生かし、各コースの特色に応じた講座編成の工夫等を図り、一人一人の希望進路の実現を目指す。 ・文理コースの総合的な探究の時間について、より探究性の高い学習内容プログラムの構築に向けて研究を進める。 <p>② 豊かな人間性をはぐくむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権学習をさらに充実させ、学校教育全体を通じて、人権感覚豊かな教育環境を構築する。 ・連携機関や外部人材の協力による様々な体験を通じて多様な価値観に触れ、グローバルな感覚やチャレンジ精神を身につける機会を提供する。 ・生徒が主体的に人間的成長を遂げる機会 ・行為を大切にするとともに、教育的意義に富む学校行事等の特別活動の充実を図る。 <p>③ 健全なる心身をはぐくむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣を身につけた心身ともに健康な生徒の育成を目指す。 ・学校における健康安全教育の充実を図り、学校環境の整備と安全を確保する。 <p>④ SSH事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5期指定を受け、その目標達成に向け、継続して取り組む。 ・外部へも積極的に発信し、府立高校の特色化事業にも生かしていく。 <p>⑤ 学校の教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールミッションに基づくスクールポリシー策定に向けて、学校の目指す方向性について中長期的及び短期的なビジョンを構築していく。 ・開かれた学校づくりを進め、学校の取組を学校説明会やホームページで積極的に発信する。 ・コンプライアンス意識の向上を図り、地域社会や家庭から信頼される教育活動の推進を図る。 ・ICT機器・教育アプリ導入に伴い、授業内での積極的な活用と効果的な活用方法の研究を行うとともに、生徒の情報リテラシーの向上を促す。